



大里っ子チャレンジ通信

No.16 2017年10月19日(木)

さいたま市立浦和大里小学校チャレンジスクール実行委員会

秋

を飛び越えて急に冬が来てしまったような冷たい雨が降る19日(木)、第16回大里っ子チャレンジスクールを実施しました。寒くても児童の皆さんは元気いっぱい！ちょっと騒がしかったけれど頑張っ



て自主学習に取り組んでいました。音読を聴いて欲しいという児童が大勢いて自主学習中の写真は右の一枚だけになってしまいました。頑張っている人たちを代表するような真剣な様子です。下級生の手本ですね。



黒瀧正憲 先生

プロ棋士の指導による囲碁教室

今

回のチャレンジスクールの後半の活動は、プロ棋士「黒瀧正憲」先生(八段)のご指導による囲碁教室でした。毎年お世話になっているので、ほとんどの児童は黒瀧先生のご指導を経験していました。あいさつの後、黒瀧先生からいくつか囲碁についてのクイズがありました。①「囲碁」という言葉が記録に残っているのは何年前?→約2500年前(中国)、②日本に伝わって来たのは?→約500年前(平安時代)・・・初めは貴族のゲームで一般庶民の間で行われるようになったのもっと後から、③日本で囲碁のルールを知っているのは?→約30人に1人(約400万人)などでした。

ク

イズの後、実践に入る前に囲碁についてのお話がありました。囲碁の基本ルールは、①黒・白交互に打つ、②道をふさげば(相手の石を)取れる、③(石を)打てないところがある、などでしたが、囲碁とほかのボードゲーム(=オセロ、将棋、チェスなど)との違いや石の置き方についてのととても興味深いお話もしてくださいました。→*世界中のボードゲームの中で、盤の線の交点(線と線が交わる場所)に置くのは囲碁だけだということ。また、盤の四隅に石を置くのはオセロでは有利だが、囲碁では最悪だということ、だそうです。

初めは石取りゲームから

い

よいよ実践にチャレンジですが、まずは囲碁の基本を理解するために、「石取りゲーム」をしました。相手の石を3つ以上取ったら勝ちです。あと1つ石を打ったら取られてしまう状態を「あたり」というそ



いつも囲碁教室の開催にあたって「日本棋院」や講師の先生方の仲介をしてくださっている地元の「古越利始」先生です。



うですが、なかなか「あたり」に気づかず、相手に石を取られてしまっている人もいましたね。将棋と同じように何手も先を読むことも大事ですね。ゲームのルールがよくわからないと言っていた人も地元の「さいたま市南区市民囲碁協会」の皆さんに助けられながらゲームができるようになりました。なかには、すっかり基本を覚えて連戦連勝の人もいましたね。すごい、すごい!

少しは手加減してね！

対局は7路×7路の盤で行いました。短い時間で勝敗が決するのですが、力の差が大きい組がいくつかあり、時代劇でいえば、「めった切り」状態の対局がありました。「少しは手加減して上げたら？」と言ったのですが、勝つのが余程おもしろかったのか、いつまでも「めった切り」を続けていました。負けてもいじけないでずっと相手をしていたEくん、お疲れ様でした。



さいたま南市民囲碁協会の皆さんのアドバイスをもらって対局しています。

◎次回（第17回）のチャレンジスクールは、**11月2日（木）**です。

◎浅井路生先生のご指導で「せっけんアート」にチャレンジします。

◎はさみを持ってきてください。

※せっけんは事務局で用意します。

◎第18回のチャレンジスクールは、**11月9日（木）**です。

◎毛部川和枝先生のご指導で「キンボールスポーツ」にチャレンジします。

◎運動しやすい服装で参加してください。

※10月は木曜日のチャレンジが続いています。土曜だけ参加の皆さんは、**11月18日（土）**「囲碁教室（2）」です。

今号の標題のイラストは「ガーベラ」。小さく細い花びらを水平に咲かせるのが特徴で、花色は多様。花言葉は色によって違いますが、全体としての花言葉は「希望」「常に前進」「美しさ」。浦和大里小のみなさんもそうあり続けて欲しいものです。



平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金事業

さいたま南伝統文化親子教室

プロ棋士 黒瀧正憲 八段 / 来訪！



昭和50年7月23日生。青森県弘前市出身。大枝謙介九段門下。

平成2年入段、3年二段、4年三段、5年四段、7年五段、10年六段、13年七段、27年八段。

黒瀧正樹六段は実弟

日本棋院東京本院所属

平成20年12月：東京大学特任講師

昭和60年：全国少年少女囲碁大会4位入賞（小学4年生）

昭和62年：全国少年少女囲碁大会優勝（小学6年生）

著書

「東大教養囲碁講座 ゼロからわかりやすく」(光文社新書)

主催 さいたま南市民囲碁協会

協力 伝統文化継承の会、サウスピア老人クラブ

↑ 「黒瀧正憲」先生（八段）のプロフィールです。